

## 公共空間について考える —宮下公園ナイキパーク化問題を通じて—

Think about Public Space thorough Miyashita Park's "NIKE PARK" problem

text\_abe

11月1日(月)都市デザイン研マガジン編集部一同は渋谷区立宮下公園を訪れました。仮囲いに覆われ、残念ながら公園内に入れませんでした。日本の公共空間について考える貴重な機会となりました。

U. D. L. Magazine editorial team went to Miyashita Park, Shibuya on November 1st. Though we couldn't enter the park, it was a valuable experience for us to think about Public Space.



▲工事用仮囲いに覆われた宮下公園



▲公園脇に立ち並ぶダンボールハウス

### 渋谷区立宮下公園

渋谷区立宮下公園は渋谷駅からほど近い明治通りとJR線路に挟まれた全長約350mの細長い公園です。1950年代前期、戦時下の強制疎開空地に公園として整備され、1960年代中期、民間企業からのプラン提示により1階駐車場、2階屋上公園という現在の形となりました。

近年老朽化問題から地元町会・商店会から改修を求める声が上がっています。2006年にはフットサルコートが整備されました。



▲公園整備完成イメージ図 (渋谷区 HP より引用)

### ナイキパーク化問題

2009年に渋谷区が命名権をナイキジャパンに売却する方針が発表されました。名称を「宮下ナイキパーク」とし、公園改修を全額負担する契約でしたが、クライミングウォールやスケートボード場を新設し、使用料を徴収するという整備方針に、様々な反対運動が起こり、公園内は反対派の拠点として公園を占拠しての抗議活動が行われていました。2010年9月には区が公園を封鎖、公園内不法占拠に対する行政代執行を行いました。

この問題を受け、同年10月ナイキジャパンは当初より公園の活性化支援が目的だったとの立場から命名権を放棄し、名称を「渋谷区立宮下公園」のまま留め置くことを発表しました。現在公園は仮囲いにより封鎖されています。

### 日本の公共空間を想う

text\_yabuki

特任研究員であるDimmerさんの案内により、マガジン班で渋谷区の公園を見学しました。改修に際して反対運動があった宮下公園のみならず、美竹公園や神宮通公園も回り、治安の維持の問題・硬直的な管理体制から生じる道路と公園の空間の切れ目など現代の日本の公園が抱える問題を目の当たりにしました。

個人的には公共空間のあり方に加え、「渋谷」という街の文脈をどう読むかという点も非常に重要であると感じました。公園整備の時代から、「若者の街」の現代まで、長い目で読み解いていく必要があるのではないのでしょうか。

都市における公共空間はどうあるべきか。都市デザインに出来る事はなにか、深遠な問いがそこにはありました。



▲宮下公園すぐ横にある神宮通公園



▲整備された明治通り歩道



▲美竹公園内のバスケットボール場



# 人生 vida と希望 esperanza

## Letter from Dr.Abe in Colombia

コロンビア滞在中の阿部先生からのお便りです！

ボゴタ、雨期なのか、晴天は少ない。Los Andes 大学での国際シンポジウムにパネリストとして参加。ボゴタに新交通システムを導入した元市長、ベニャロサ氏にお会いする。授業にも呼ばれ、講義を3つほど。

メデジン、快晴。インフォーマル市街地の調査。Santo Domingo 地区では、図書館と公共空間を地域のコアとして埋め込むことで、荒れ果てた界隈が元来の人情味溢れる公共空間として息を吹き返している。

再び、ボゴタ、雨天。市内最大のスラム Ciudad Bolívar の調査。舗装はほとんどなされておらず、住宅はセルフビルドで、インフラも未整備という状況にある。依然として治安も悪く、収入も教育レベルも低いこうした地区の再生は決して容易ではない。排除から包摂へのヒントは、まずは交通アクセス、教育、公共空間にありそうだ。

様々な葛藤はあるのだろうけれど、人々は総じて明るく、その屈託のない笑顔が印象に残る。世界中のどのような場所であれ、そこには人生 vida があり、希望 esperanza がある。



▲ボゴタ市 Ciudad Bolívar 地区。ほとんどの街路が未舗装



▲メデジン市 Sant Javier 地区。崖地につくられた不良住宅

### プロジェクト報告

## 今踏み出す、まちづくりの第一歩

住民の方々とのワークショップを行った田村PJと浅草PJからの報告です！

### 田村 TAMURA-project プロジェクト

M2 黒川 佑人



▲歴史を感じる大越娛樂場



▲大勢の方にご来場頂きました

11月6日(土)今和次郎設計の大越娛樂場での「檜枝岐歌舞伎」を終え、今年度の田村市大越町でのまちづくり実験は幕を閉じました。まちづくり実験の拠点として「大越探検隊」「民泊」「あるきあるき大会」等でも活用してきた娛樂場に溢れんばかりの住民が集まった光景を見て、これまでの調査・議論・ワークショップなどの記憶が蘇り、その凝縮されたモノがこれなんだと思うと感慨深くなりました。

また、実験を行うにつれ行政や住民の方々が自ら提案し行動される姿が印象的で(僕らの出る幕がないほどに)、飲み会では口を揃えて「自分たちでまちをよくするんだ」と言って大いに盛り上がりました。これからの大越町が楽しみでなりません。実験は終わりましたが、これからも築いた関係を大切にしていきたいと思えます。

### 足助PJ 11/13,14 開催！ 「あすけうちめぐり」

日時：11/13,14 10:00～16:00  
場所：愛知県豊田市足助地区  
内容：普段入る事の出来ない土間や座敷、中庭を2日間公開。  
足助の隠れた魅力を体験してもらいます！

#### 11月の予定

|           |                         |
|-----------|-------------------------|
| 11月12日    | 2010年度第9回研究室会議          |
| 11月13～14日 | 日本都市計画学会@名古屋大学          |
| 11月15日    | 2010年度第10回研究室会議         |
| 11月20～21日 | 佐原PJ「建物公開 with 下新町空間事典」 |



### 浅草 ASAKUSA-project プロジェクト

text\_maekawa



▲本格的な小屋が完成しました



▲たくさんの子供達が参加！！

11月7日(日)に「奥浅草」とよばれる千束入谷地区にて第2回光月工房を開催しました。今回は地域の子供達と一緒に材木で小屋(秘密基地)を作ろうという企画でした。子供達は、はじめはトンカチを持つのもためらっているほど遠慮がちな様子でした。しかし、大人達がせっせと骨組みを作っているのを見るうちにどんどん積極的になり、ついには女の子達が楽しそうにトンカチ片手にガンガンと小屋を製作する風景も見られるほどにまで盛り上がりました。

また当日は近くで酉の市が行われていたこともあり、普段よりも人通りが多く、よりたくさんの人々に材木の町だとアピールすることが出来ました。

振興会の方々、東大メンバーに加え、地域の材木問屋さんに大工さん、また同じく浅草をフィールドにしている慶應大中島直人先生の研究室からも4年生が手伝いに来てくれ、多くの人々と企画を作り上げた実感を共にした光月町。今後も地域の持つ素材や技術を活かしたまちづくりを模索していきます。

### 編集後記

矢吹 剣一

新マガジンメンバーの矢吹です。今号が初編集です。あと2時間後の新幹線にのり、足助へと旅立ちます。議論に議論を重ねた3ヶ月。毎月足助まちづくり部会へ出席した三ヶ月。やっと住民のみなさんと一体感が出てきたかなと感じる今日この頃、あつという間に社会実験本番です。たった2日間の企画ですが、様々な人のご協力と、先生方・メンバーの頑張りを目の当たりにし、まちづくりの大変さとやりがいを感じます。あとは当日晴れる事を祈るのみ。最近めっきり寒くなりましたので、皆さん風邪は引かないように体調には十分お気をつけて…